令和３年度　学校法人鴨下学園 栗島幼稚園 園だより（9 月号）　　令和３年９月７日（火）発行

くりしま

《本園の教育目標》
〇元気がある　〇自分のことは自分でする
〇仲良く遊ぶ　〇ものごとに興味・関心をもつ
〇思ったことを話し、人の話を聞く
〇体験や考えに感動する　〇工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》 栗島幼稚園 検索

『 いっしょにしのぶ、二学期 』

園長　矢田 泰久

新学期が始まりません。例年であれば「たのしいうれしい夏休み」の報告がいっぱいあるこの時期ですが、ただ今臨時休園中です。残念ながらそのようなお話はほとんど聞けません。また、今年も豪雨による災害や猛暑により大きな災害に見舞われました。保護者の皆様はじめたくさんの方が制限や我慢を余儀なくされた長い夏休みでした。お辛いお話の方がいっぱいあることでしょう。今も災害の復旧や医療現場で懸命に労されている皆様に心よりの敬意と感謝を申し上げますとともに、保護者に皆様におかれましても感染や自然災害へご不安がある中、懸命にご家族の命を最優先にして守っていただいていますことに敬意と慰労申し上げます。まだまだ大変な状況下です。もうしばらく辛抱して、新型コロナウイルス感染対策に努め、共々乗り越えてまいりましょう。

子育てに不要不急はありません。子どもたちの心身の成長にとって、大人以上に瞬時瞬時が大切です。成長・発達において時間が限られること、体験が狭められることは大きな損失です。園では現在、幸いなことに集団感染といったクラスターはありません。しかし、感染防止策による制限と教育の機会の確保（保障）といった相反することを行なっている園活動下では、一層の自覚と覚悟をもって教育・保育を行っていかねばと思っています。保護者の皆様の感染対策等へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。ご迷惑をお掛けしておりますが保護者の皆様の安堵感が大きな励みです。

この夏休み期間中、夏季保育ではすいかわり・水遊びをして楽しみました。同様にほし組でも室内での自由遊びの他、一緒に水遊びやお化け屋敷を楽しみました。

【夏の思い出①】
<7/26 すいかわり>

【夏の思い出②】　＜ほし組　水遊び・お化け屋敷＞

今年は夏の期間、日本では 57 年ぶりに東京オリンピックが開催され、その後パラリンピックも開催されました。映像越しでの観戦でしたが私もたくさんの感動をいただきました。人間の身体能力の限界へ挑戦し続ける姿、そのたゆまぬ努力に敬意を払わざるを得ません。とりわけ個人的には、パラリンピックの選手たちとその支援者の方々に敬意を表します。

一つはご本人へ。障害を受容することです。20 年以上障害のある子どもたちの教育に携わってきた者として、本人が障害を理解し受容することは並大抵のことではありません。自分の現状を「客観的に知ること」そして「受け入れること」には長い時間がかかります。その上で、アスリートとしてたゆまない努力をし続けること、ただただ敬意しかありません。

もう一つは選手を支える方へ。一例としてガイドランナーの皆さんです。視覚障がいのある方は運動したくても危険を伴うため、一人で自由に走ることができません。そこで見える人が伴走することで視覚を補い、危険を回避できます。日本では 1983 年に第 1 回 全日本盲人健康マラソン大会が開催されるなど、早くから伴走の文化が存在していました。

今世界は自然の驚異により人類の命が脅かされています。しかし、自然を壊し原因を作っているのも人類です。パラリンピックの精神と行動規範にあるように、多様性を認め共に生きることが求められていると思います。これからの未来に生きる園児たちも成長とともにこの精神と行動を大切にして欲しいと願います。

【 9 月の主な予定 】
13 日（月） 始業式　午前保育始
17 日（金）午前保育終
21 日（火）平常保育始
22 日（水）敬老の日はがき投函
28 日（火）7/8/9 月お誕生日会

結びに、9 月 12 日まで延長された東京都の緊急事態宣言がまた再々延長されるような報道があります。国はもちろんのこと東京都や足立区から何らかの要請が本園にありましたら、速やかにお知らせいたしますとともにまたご理解・ご協力をお願いいたします。

臨時休園中である本日、２度目の製作課題を配付いたします。お子様の発達に少しでもお役に立てばと思っております。また、今後の予定を確認していただき、休園が解け、来週園で子どもたちの元気な姿、保護者の皆様にお会いできますことを教職員一同心待ちにしております。もうしばらく皆様お元気でお過ごしください。